

桶狭間の戦い 広域マップ

このマップは、名古屋市緑区と豊明市に点在する桶狭間の戦いに関連する史跡や見どころを1枚の地図にまとめたものです。名古屋市緑区、豊明市と両地域で桶狭間の戦いのPR活動に携わる住民の方々が協力して作成しました。

織田信長

ルート①

ルート②

従来通説とされてきた「迂回説」による織田信長の進軍ルート。桶狭間古戦場保存会(緑区)が推定する「大高道」

今川義元

まちかど案内所
(番号入りは裏面に貼付あり)

土産物あり

休憩可

駐車場あり

トイレ

悠々庵(桶狭間歴史文庫)

開館時間
毎月第一土曜日、
第三次曜日
13:00~17:00

所在地
名古屋市緑区有松町大字
桶狭間字郷前36

お問合せ:桶狭間古戦場保存会 052-622-0545

両軍の進軍ルートについて

小瀬甫庵の「信長記」以来、「善照寺砦を出た織田信長は、北から迂回して桶狭間にいた今川義元を奇襲した」という説が一般的であった。現在、事実に近いと考えられている「信長公記」の記述によると、織田信長は善照寺砦から中島砦を経て桶狭間へ向かったことが分かる。その後の進軍ルートは推測の域を出ないが、織田信長は「迂回」ではなく「直進」に近い進路を取ったという説が有力になりつつある。この「桶狭間の戦い広域マップ(左図)」には、織田信長の進軍ルートを2種類示した。どちらも今川義元が休息したという「おけはざま山」を目指している。また、今川義元の進軍ルートについても、記録は残っていないが、推定ルートを2種類示した。



16 鷺津砦跡
名古屋市緑区大高町字鷺津山
今川方の大高城に備え織田信長が築く。桶狭間の戦いの前哨戦では、今川軍の攻撃により陥落。公園奥の林の中に碑石が立つ。(国指定史跡)



15 中島砦跡
名古屋市緑区鳴海町字下中
今川方の鳴海城に対して築かれた織田方の三つの砦の一つ。織田信長は、清須から、熱田神宮、丹下砦、善照寺砦を経て、ここから桶狭間に出撃したといわれる。私有地の一角には碑石が立つ。



14 善照寺砦跡
名古屋市緑区鳴海町字砦
今川方の鳴海城に対して築かれた織田方の三つの砦の一つ。織田信長は、丹下砦よりここへ移って兵を集結し、桶狭間へ出陣。見晴しのよい公園となり、鳴海紋開祖の碑も建つ。



13 鳴海城跡
名古屋市緑区鳴海町字城
根古屋城とも呼ぶ。桶狭間の戦いの時は、今川方の岡部元信が守り、戦いが終わっても籠城を続け、今川義元の手引援えに開城。城跡は道で分断され、公園と天神社となる。



12 丹下砦跡
光明寺 名古屋市緑区鳴海町字丹下
今川方の鳴海城に対して築かれた織田方の三つの砦の一つ。桶狭間の戦いの当日、織田信長が清須から熱田を経て、この砦に到着。砦跡付近に建つ光明寺の石垣の中に砦の石が残るといふ。



17 丸根砦跡
名古屋市緑区大高町字丸根
今川方の大高城に備え織田信長が築く。桶狭間の戦いの前哨戦で、松平元康(後の徳川家康)の攻撃により陥落。砦の形がまだ分かる程度に残り、碑石が立つ。(国指定史跡)



18 大高城跡
名古屋市緑区大高町字城山
築城年代不詳。桶狭間の戦いの時は今川方で孤立。松平元康(後の徳川家康)による「大高城兵糧入れ」は有名。堀の一部などが残り、碑石が立つ。(国指定史跡)



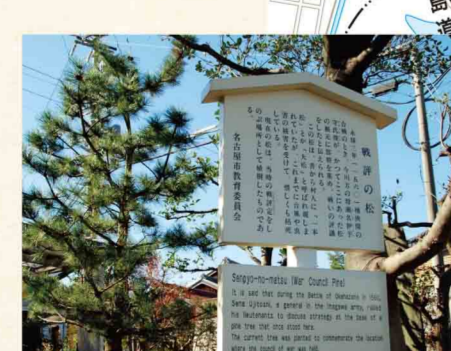
3 七ツ塚
名古屋市緑区桶狭間北二丁目
織田信長は今川義元を討ち取った後、全軍を釜ヶ谷付近に集め勝鬨を上げ、そして、村人に戦死者を埋葬するよう命じて引き上げた。現在は、かつて7つあった塚のうち一つが整備され、供養されている。



4 桶狭間古戦場公園
名古屋市緑区桶狭間北三丁目
桶狭間の戦いの中心地で田楽坪と呼ばれ、「信長公記」にある今川義元の最期の地といわれる。戦いゆかりの史跡を配置したジオラマ公園で、織田信長と今川義元両雄の銅像が立つ。



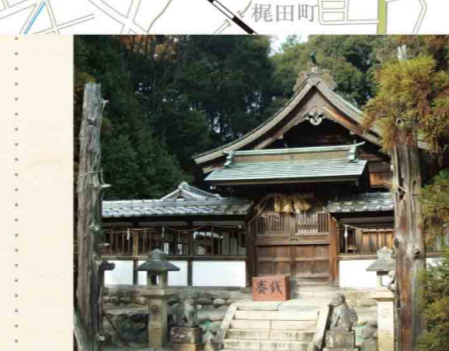
5 瀬名氏俊陣地跡
名古屋市緑区有松町大字桶狭間字寺前
今川義元の家臣瀬名氏俊が先発隊として、5月17日に着陣した所。大高、鳴海方面の監視に当たるとともに、19日に今川義元本隊を迎えるための本陣をおけはざま山に設営した。



6 戦評の松
名古屋市緑区桶狭間神明
桶狭間の戦いの時、この地にあった大松の下で、今川の家臣瀬名氏俊が武將を集め、戦いの評議をしたと伝わる。その松は伊勢湾台風で枯れ、現在の松は3代目である。



7 長福寺
名古屋市緑区有松町大字桶狭間字寺前
天文年間創建の浄土宗寺院。今川義元的首級証に立ち会った茶坊主林阿彌が、後に持参したといわれる阿彌陀如来本尊や今川義元と家臣松井宗信の木像が安置されている。



8 桶狭間神明社
名古屋市緑区桶狭間神明
祭神は天照天神。起源は、桶狭間村開村の祖である南朝の落武者によって奉祀されたともいわれる。宝物に、桶狭間の戦い時に今川の家臣瀬名氏俊が戦勝祈願して奉献した酒桶がある。



9 桶狭間古戦場伝説地
豊明市栄町南館
昭和12年(1937)に国の史跡指定を受けた。今川義元墓碑(1876年)、七石表(1771年)、甲古碑(1809年)などがある。(国指定史跡)



今川義元墓碑
豊明市栄町南館
明治9年(1876)、有松町の人口正義が建立した今川義元の墓碑。自然石に「今川治部大輔義元墓」と刻まれている。毎年6月、墓前祭が行われる。



七石表・1号碑
豊明市栄町南館(写真は今川義元のもの)
明和8年(1771)、尾張藩の人員弥孫右衛門泰(勘定奉行)・赤林孫七郎信之(小納戸役)が建立。今川義元と家臣の松井宗信ら、計7基の塚に建てられた。



10 高德院
豊明市栄町南館
明治26年(1893)、高野山より寺の名を請い受けて建立された真言宗寺院。毎年6月の桶狭間古戦場まつりでは主会場となる。また、住職を導師として墓前祭が行われる。



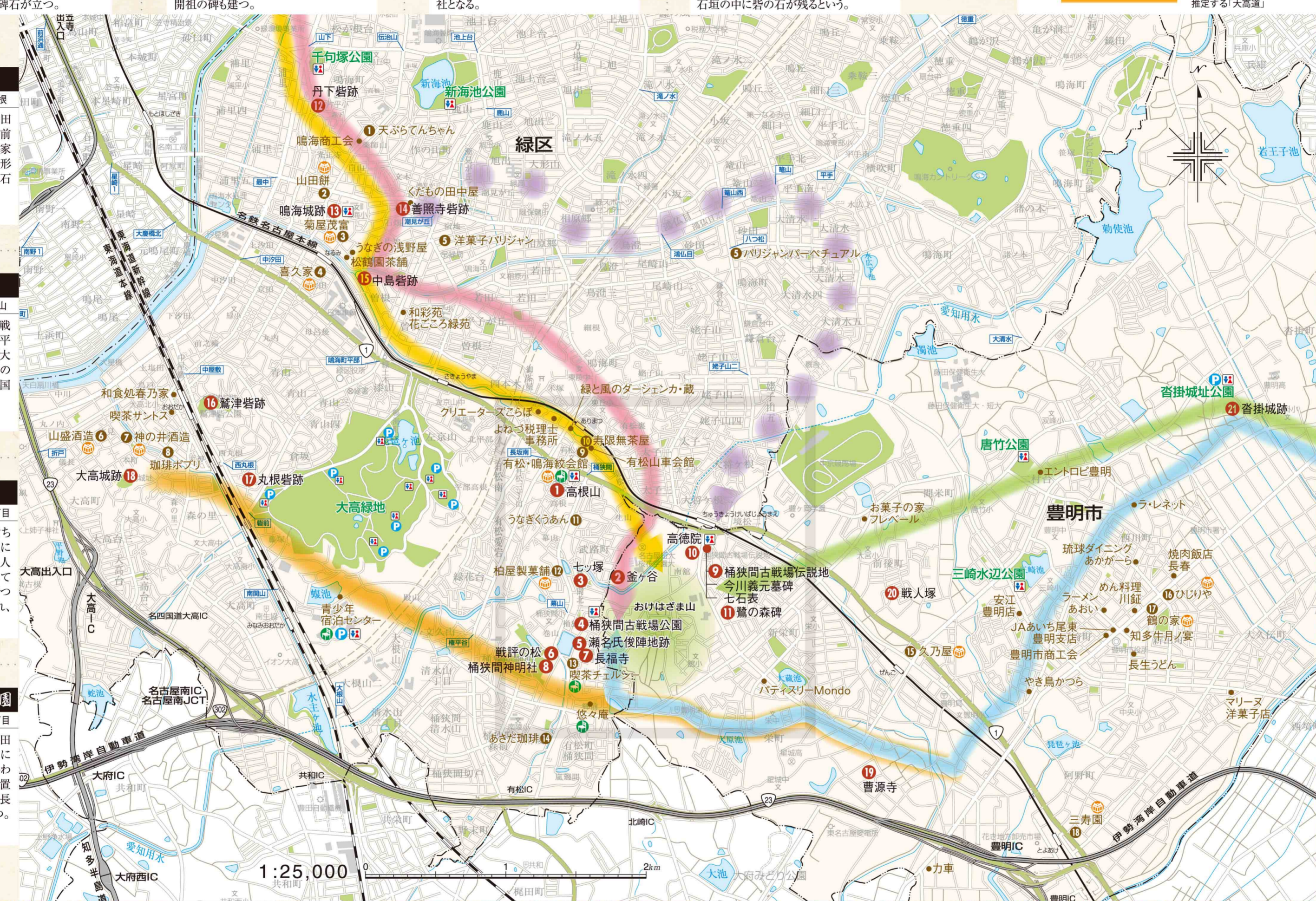
21 香掛城跡
豊明市香掛町東本郷
桶狭間の戦いの前夜、今川義元が泊まったといわれる。戦いの後、織田信長は家臣桑田出羽守に与えた。その後、織田安春、川白久助と代わり1600年頃に廃城と考えられる。



20 戦人塚
豊明市前後町仙人塚
曹源寺住職らが桶狭間の戦いの戦死者を集めて葬った塚。塚の上の石碑は、元文4年(1739)、今川義元の180回忌の際に建てられたものと伝えられている。(国指定史跡)



19 曹源寺
豊明市栄町内山
永正2年(1505)美田以松が開創。桶狭間の戦い後、住職が戦死者を戦人塚に、今川義元と武將を位牌堂に祀って供養した。知多四国巡礼の一番札所でもある。



1:25,000 共和町 2km